

平成26年12月5日

室蘭線洞爺・豊浦間のトンネルにおけるモルタル剥離について

1. 概況

12月5日10時34分頃、保線社員が線路を巡回点検中に、室蘭線洞爺・豊浦間の上り新チャストンネル内において、列車の進行方向左側にモルタル片が剥離しているのを発見しました。

現地を確認した結果、当該トンネルせめ部に施工されていた補修モルタルの一部がはがれたものであることが判明しました。

モルタルの剥離位置は、列車に接触する箇所ではありません。

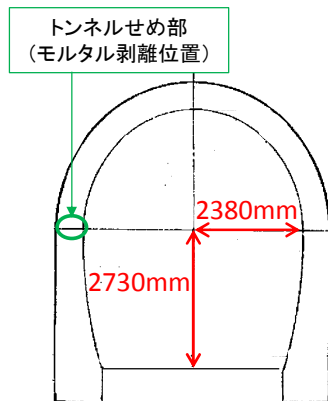
- 【発見場所】 北海道虻田郡洞爺湖町清水
室蘭線 洞爺・豊浦間（上り線） 新チャストンネル（635m）の
入口から約450m付近の進行方向左側
- 【剥離物】 トンネルせめ部のモルタル 24個 総重量：約700g
最大の大きさ
約12cm×約7cm×約2cm : 重さ 約200g

2. 原因

補修モルタルの不良箇所が列車通過時の振動等により剥離に至ったものと推定しています。

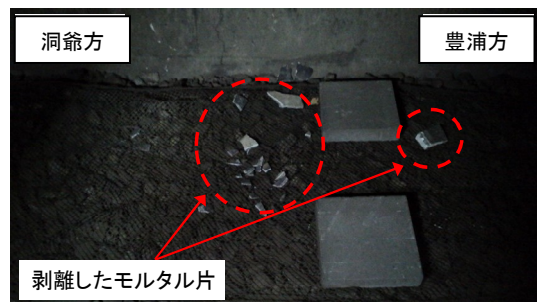
3. その他

- ・当該トンネルは、昭和45年2月に完成しました。
- ・当該トンネルの直近の検査は、平成26年4月1日です。



トンネル断面図と剥離箇所

※「せめ部」とはアーチと側壁の接続部分



剥離したモルタルの写真